

食育だより

令和6年度5月



新年度がスタートして1か月。新しい生活に慣れてきたことだと思います。
今月は子どもの日の行事食として、鯉のぼりハンバーグ、柏餅風じゃがもちは給食で出します。おうちでも話題にしていただき、子どもたちの成長を共にお祝いしましょう。

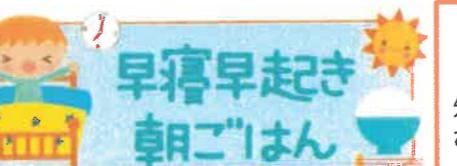
【今月の食育】

たんぽぽ組 6月からスタートします。	さくら組 22(水) そら豆のさや取り	
ほし組 29(水) 梅ジュース作り	つき組 稲栽培	たいよう組 8(水), 9(木) 味噌仕込み



端午の節句は中国伝来の風習です。5月（旧暦の6月）は急に暑くなり、体調を崩す人が増える時期。そこでこの日に、健康を祈願していました。

端午の節句の食べ物には、ちまきやかしわもちがあります。ちまきを吃るのは中国由来の風習ですが、かしわものは日本独自の風習です。かしわは縁起物で、新芽が出るまで古い葉が落ちないことから「家系が絶えない」といわれています。



規則正しい時間に寝て、朝早く起きる生活をすることは、なによりも子どもの脳の成長に重要です。夜型の子どもには、キレやすい、攻撃的など、問題を起こしやすい傾向があることがわかっています。さらには、太りやすいことも発表されています。

朝ごはんは、寝ている間に低下している体温を上昇させ、脳の働きを活発にするために必須です。早寝早起き、朝ごはんは、頭と体を元気にする基本です。

誤嚥・窒息に注意

先頃、乳児の食事中の誤嚥で重大な事故が発生していることが報道されています。

保育園でも各機関からの事故防止に向けた取り組みを、徹底しています。離乳食では、りんごは柑橘類に変更して提供、プチトマトは幼児も4等分にして提供しています。

ご家庭でもりんごやプチトマトに関わらず、ブドウ、うずらの卵、餡や豆類などに気を付けていただき、園外保育などでの手作りお弁当にもプチトマトを丸々一粒入れるのではなく、4等分にするなど、ご配慮頂ければと思います。

～窒息につながりにくい食べ方～

- ・よく噛んで食べる
- ・食べるときに集中して姿勢を正し、寝ながら、歩きながら、遊びながら、しゃべりながら、笑いながら、泣きながら食べない
- ・水分を摂ってのどを潤してから食べる
- ・一口にたくさん詰め込まない